



Zoffの「AIR VISOR」。花粉をフードでガードし、マスクをかけても曇りにくいレンズを使用している

# 子供の花粉症対策

部の地域でもう始まっている。発症は低年齢化が進んでおり、製菓会社の調査などによると、子供の3人に1人が花粉症の症状があるとされている。発症予防のためには花粉の飛散が本格化する前からの対策が肝心だ。近年は花粉を体に入れないため、子供向けのさまざまなグッズが発売されている。(植田寿宏)

## 周囲が気付きにくい

調査はロート製菓が昨年11月に0〜16歳の子供がいる類、1872人を対象に

インターネットを通じて実施した。それによると、自分の子供が「花粉症だ」と思う一と認識している割合は31・5%。4年前の調査に比べ5・8%増加した。花粉症の症状が出る季節としては春が85・8%で最も多かった。

子供のアレルギーに詳しい大阪乳児院(大阪市)の末広豊院長は、「アトピー性皮膚炎やぜんそくは減少傾向にあるとされるが、子供の花粉症は増加してい

# フード付き眼鏡やジャケットで



アカチャンホンポの花粉対策ジャケット。花粉が付きにくいよう表面が加工されている

る。アトピー性皮膚炎と比較すると花粉症は3倍以上という報告もあると話す。子供の花粉症にはどんな特徴があるのか。末広院長は「鼻水や連続してくしゃみが出るというより、集中力が低下してぼーっとしているなど、周囲が気付きにくい」と説明。朝が子供の様子をよく観察することが必要と指摘した。

## Sサイズ売り上げ増

花粉症の原因となる花粉

入る。マスクの使用はもちろんだが、花粉対策眼鏡も併用したい。眼鏡店チェーン「Zoff(ソフ)」を運営するインターネットメスティック(東京都港区)は1月、花粉対策の眼鏡「AIR VISOR(エアバイザー)」20種を発売した。このうち8種類は子供や大人の女性にも合う小さめのSサイズだ。Sサイズは昨年、対前年比で26%売上げを伸ばしたヒット商品。フレームの内側にフードが付いていて、花粉を最大

マスクを併用しても曇りにくいレンズを使っており、追加料金で度をつけることも可能だ。担当者は「普段眼鏡をかけるない子供でもストレスなく使用できるよう工夫している。つらい季節をファッションアブルに乗り切ってほしい」と話している。

## 表面に特別加工

子供向けの対策ジャケットもある。ベビー・キッズ用品販売の一赤ちゃん本舗(大阪市)は1日、「シンフルフリー 花粉対策ジャケット」を発売した。表面に花粉が付きにくく、落ちやすい加工を施した。撥水効果もあり、春先に急に気温が下がったときなどに羽織るのにも便利だ。

サイズは80〜120センチまでの6種類。全国の「アカチャンホンポ」各店とネット通販の「オムニア」(<http://akachan.omniah.jp>)で購入できる。担当者は「家に入る前に上着に付いた花粉をはたいて落とせば、家の中に持ち込む花粉を減らせます」とアドバイスしている。